

令和3年6月21日
(独)家畜改良センター
熊本牧場

飼料用イネの展示ほを設置しました

(独)家畜改良センター熊本牧場(場長:^{あらた しんじ}新晋二)では、昨年度に引き続き、飼料用イネ品種選定の一助となるよう飼料用イネの展示ほを設置しました。

本年度は、5月31日に田植えを行い、高糖分・極短穂タイプの新品種「つきはやか」、「つきあやか」などWCS(ホールクロップサイレージ:実と茎葉を一体的に収穫し乳酸発酵させた粗飼料)向け品種を中心に、早晚性の異なる19品種を比較できるよう並べて栽培しています。

展示ほについては、当场ホームページ「飼料用イネの展示ほ場」のページ(<http://www.nlbc.go.jp/kumamoto/seed/siryoinetenzio/>)でも定期的に更新していきますのでご確認ください。

現地説明等の対応は、随時受け付けておりますので、希望される方は、以下の問い合わせ先までご連絡をお願いします(新型コロナウイルス感染症対策のため、日程等の調整を行う場合があります)。



写真は昨年度の様子

【主な展示品種】

- ・WCS 向け
「つきはやか」、「つきあやか」、
「つきことか」、「ミナミュタカ」
- ・飼料米向け
「みなちから」、「ミズホチカラ」
- ・兼用種
「夢あおば」、「北陸193号」

お問い合わせ先

家畜改良センター熊本牧場

担当者:種苗課 川原・森

電話:0968-84-3660

FAX:0968-84-3708

URL:<http://www.nlbc.go.jp/kumamoto/index.html>

「日本の食卓改良と技術で守ります。」

～小さなタネから大きな牛まで～